

日本福祉介護情報学会ニュース 2018年度第2号

2018年10月19日

発行：日本福祉介護情報学会（<http://jissi.jp>）
埼玉県新座市北野1-2-26
立教大学コミュニティ福祉学部
飯村研究室内 info@jissi.jp

【目次】

1. 当面の学会運営について	1
2. 第19回研究大会案内	3
3. 2018年度「研究・実践企画奨励助成制度」の募集	3
4. 紀要「福祉情報研究」の進捗状況	3
5. ホームページ委員会からのお知らせ	4
6. 日本社会福祉系学会連合に関するお知らせ	4
7. 2017年度決算	5
8. 事務局から	6

1. 当面の学会運営について

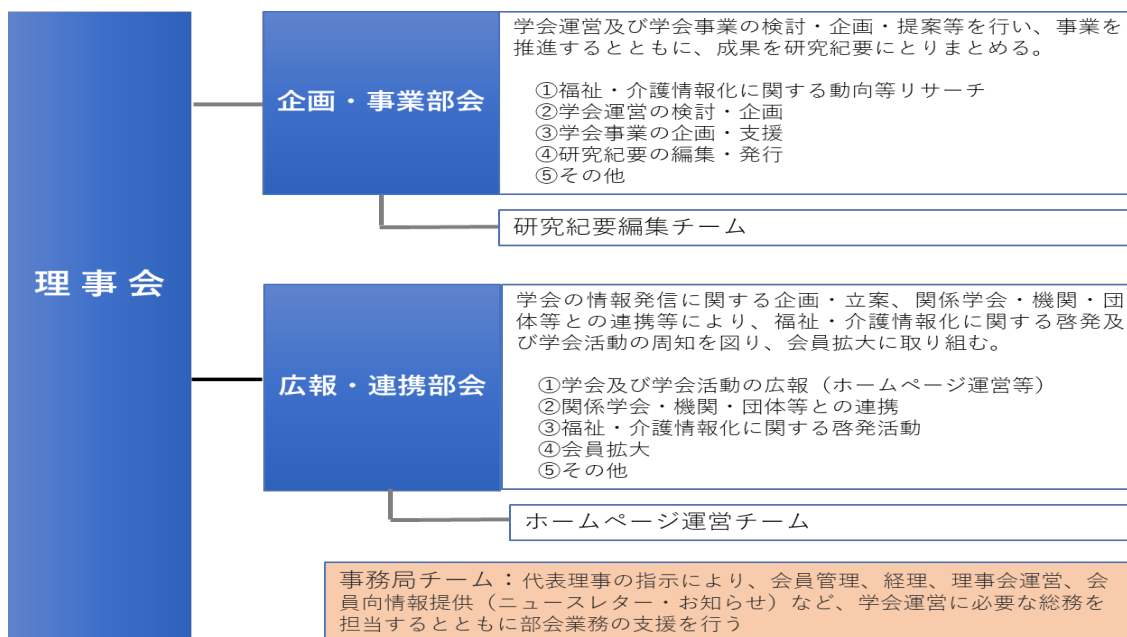
日本福祉介護情報学会 代表理事
生田正幸（関西学院大学）

設立以来18年余りが経過し、学会を巡る状況も大きく変化しつつあります。今後の学会のあり方を考えるとき、運営等について見直しが必要と考え、理事会に提起し議論を行いました。その上で、これまでの成果・実績を活かしながら、新たな一步を踏み出すために、当面の学会運営を以下の方向で進めることに意見がまとまりましたので、要点を報告させていただきます。なお、今後も見直しが必要と考えられる点について検討を続けて参ります。

(1) 運営体制について

- ・理事会の下に、①企画・事業部会（部会長 林理事）と、②広報・連携部会（部会長 飯村理事）を設置し、①の下に紀要編集チーム、②にホームページ運営チームを置くとともに、学会運営を担う事務局チームを組織します。

（次頁参照）



- * 部会業務は理事会の指揮により行う。
- * 部会メンバーの配置等については、各部長が代表理事と調整の上行う。

(2) 研究大会について

- ・従来の学習会を発展させる形で、春・秋の2回、東京都内で開催します。
- ・おおまかな方向性として、春季大会（5～6月）は、制度・政策の動向、情報技術等の動向について、秋季大会（11～12月）は、福祉・介護の現場における情報化動向・取り組み動向を軸にプログラムを構成し、午前中に自由研究発表、午後にシンポジウム、講演等を予定しています。
- ・当面の研究大会テーマとしては、あくまでも例ですが、「福祉・介護・医療分野の情報化政策」「介護サービスとAI」「介護サービスとロボット」「地域福祉における情報の活用」「当事者支援における情報の活用」などが挙げられています。

(3) 研究紀要の発行について

- ・投稿論文（会員のみ：査読対象）を主に発行してきましたが、情報提供の役割を強化するため、情報化に関する動向、制度・政策動向、福祉・介護現場における取組等について寄稿論文や依頼論文も掲載することにします。
- ・発行は、原則年1回（研究大会の開催される5～6月頃）とし、投稿原稿の締め切りは2019年度以降10月末を原則とします。
- ・寄稿論文（寄稿者は会員・非会員を問わない）・依頼論文（執筆を依頼する）については、編集委員会が取り扱いや掲載について検討し決定を行います。
- ・掲載論文等の抜き刷りは行わないこととし、掲載紀要の贈呈をもって代えます。
- ・「福祉・介護情報化資料集（仮題）」など、関係する情報の収集・提供を行う研究紀要「別冊」の企画・発行を検討
- ・編集委員会は、代表理事と企画・事業部会長、広報・連携部会長で構成します。

2. 第18回研究大会案内

日本福祉介護情報学会理事・第19回研究大会事務局
小川晃子（岩手県立大学）

既に開催要項をお送りしております通り、11月18日（日）に盛岡駅前にある岩手県民情報交流センターにて、日本福祉介護情報学会第19回研究大会を開催します。大会テーマは、「地域共生社会の情報環境-IT活用による当事者・地域の主体形成を目指して」となっております。

障害者・高齢者を含む住民のIT活用が主体形成となり、それが地域共生社会の環境形成に資することを明らかにしつつ、さらに環境形成に必要な社会技術の開発とは何かを検討し共有することを目指しています。

大会では、例年通り午前中に自由研究発表、昼食を挟んで学会総会を開催します。その後、地域共生社会の実現とIT活用について、高橋紘士本学会顧問による基調講演を行います。さらに、現場で活動する多彩なシンポジストから、IT活用による当事者と地域の主体形成について事例報告をするとともに、パネルディスカッションを行います。ホームページにも開催要綱を掲載しております。皆様お誘い合わせの上、参加くださいますよう、心よりお待ちしております。

また、前日の11月17日（土）15:30～18:00には「若手研究者の会」を開催しますので、学部卒業または大学院修了10年以内の若手の方は積極的に参加いただけますようお願い申し上げます。

3. 2018年度「研究・実践企画奨励助成制度」の募集

日本福祉介護情報学会理事
飯村 史恵（立教大学）

2018年度の「研究・実践企画奨励助成制度」につきまして、今回のニュースレターに応募要領・申請書を同封いたしました。従来の応募要領と基本的には同様ですが、採択予定件数が1件であること、申請時に今年度の会費納入が済んでいること、申請は原則として1回であることなど、若干の変更等もございますので、ご確認の上、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。学会ホームページからのダウンロードも可能です。<http://jissi.jp/165>

なお、ご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

4. 紀要「福祉情報研究」の進捗状況

日本福祉介護情報学会理事・学会誌編集委員長
林 恭裕（愛和福祉会）

「福祉研究情報」第15号の発行の準備をすすめてきましたが、掲載する投稿論文がございませんでしたので、15号につきましては発行時期を先のべして2019年5月に刊行することになりました。

た。代表理事の「当面の学会運営」にありますように、「福祉研究情報」の編集については、見直しを行っているところです。第15号については、新しい編集方針のもとにリニューアルしたものを、と思っています。学会員の方の積極的な投稿を期待しています。

5. ホームページ委員会からのお知らせ

日本福祉介護情報学会理事
村井 祐一（田園調布学園大学）

ホームページ委員会は、学会活動に関する最新情報の提供を心がけ、ホームページ内のコンテンツ充実を行っています。一例として近年開催された「研究大会」や「学習会」などには、大会結果報告や学習会結果報告が追記されておりますので、参加できなかった方々はご一読いただければ幸いです。

また「学会概要」内の「事業計画／事業報告」や「会員総会」などには本学会の運営情報などが豊富に掲載されているため、こちらをご覧頂ければ本学会の運営状況を把握して頂けると思います。

さらに、トップページに新たなTwitterアカウントコーナー（@JISSIx1）が追加されました、こちらでは福祉・介護の最新情報をリツイートしておりますので、フォローをよろしくお願い申し上げます。

6. 日本社会福祉系学会連合に関するお知らせ

日本福祉介護情報学会理事・日本社会福祉系学会連合運営委員
小川 晃子（岩手県立大学）

（1）日本社会福祉系学会連合補助金について

日本社会福祉系学会連合では、加盟学会が活性化することを目的とし、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費の一部を補助する制度があります。本年度、当学会では、第19回研究大会のパネラーを招聘するための旅費の一部（5万円）について申請し補助金を受けることが決定しました。

（2）日本学術会議公開シンポジウム

日本学術会議社会学委員会社会福祉学分会が主催し、日本社会福祉系学会連合が共催するシンポジウムが以下のように開催されます。メーリングリストにおいて詳細を記したチラシを配布する予定です。ご参集ください。

テーマ：「社会的つながりが弱い人への支援のあり方について」

日時：平成31年1月14日（月）14：00～17：40

場所：日本学術会議講堂 東京都港区六本木7-22-34

参加費：無料、事前申し込み不要

問い合わせ先：日本社会福祉系学会連合事務局 union-jssw@kokuksaibunken.jp

7. 2017 年度決算

日本福祉介護情報学会 2017 年度決算 (自 2017.04.01 ~ 至 2018.03.31)

《収入の部》				(単位:円)
項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 入会金収入	40,000	31,000	9,000	
1-1 正会員	30,000	27,000	3,000	@3,000×9人
1-2 学生会員	10,000	4,000	6,000	@2,000×2人
1-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
1-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
2 会費収入	600,000	687,000	△ 87,000	
2-1 正会員	570,000	642,000	△ 72,000	@6,000×107人分(実88人)
2-2 学生会員	30,000	45,000	△ 15,000	@3,000×14人分(実10人)
2-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
3 参加費収入	50,000	44,000	6,000	
3-1 参加費収入	50,000	44,000	6,000	3/18学習会参加費
4 雑収入	5,000	144,154	△ 139,154	
4-1 雑収入	5,000	144,154	△ 139,154	預金利子・大会剰余金
5 繰越金	3,032,000	3,147,022	△ 115,022	2015年度からの繰り越し額
5-1 基本財産繰越金収入	1,282,000	1,294,000	△ 12,000	
5-2 前年度繰越金収入	1,750,000	1,853,022	△ 103,022	
合計	3,727,000	4,053,176	△ 326,176	
《支出の部》				
項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 事業費	1,570,000	1,433,769	136,231	
1-1 理事会開催費	200,000	146,960	53,040	3回分
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	立教大学飯村研究室
1-3 委員会費	50,000	60,000	△ 10,000	ホームページ改修費用
1-4 紀要発行費	450,000	549,579	△ 99,579	13・14号印刷等費用他
1-5 学習会開催費	100,000	30,088	69,912	3/18学習会諸費用
1-6 広報活動費	100,000	77,142	22,858	HP年間メンテ・レンタルサーバ費用
1-7 研究助成費	300,000	200,000	100,000	2件助成
1-8 分担金	20,000	20,000	0	福祉系学会連合分担金
2 事務費	170,000	59,104	109,556	
2-1 什器・備品費	10,000	0	10,000	
2-2 印刷費	30,000	0	30,000	
2-3 通信費	100,000	40,444	59,556	郵送料・手数料
2-4 事務補助員費	10,000	0	10,000	
2-5 諸雑費	20,000	18,660	1,340	吊意費用
3 繰越金	1,322,000	2,560,303	△ 1,238,303	2018年度への繰越額
3-1 基本財産繰越金	1,322,000	1,325,000	△ 3,000	入会金及び入会金繰越額相当
3-2 次年度繰越金	0	1,235,303	△ 1,235,303	
4 予備費	665,000	0	665,000	
合計	3,727,000	4,053,176	△ 327,516	

貸借対照表	
《借方》	
科 目	金 額
流動資産	3,205,379
預金(普通預金)	3,161,377
未収金(会費等)	26,000
現金	18,002
資産合計	3,205,379
《貸方》	
科 目	金 額
流動負債	645,076
前受金	3,000
未払金	642,076
負債合計	645,076
基金	1,325,000
基本財産	1,325,000
剰余金	1,235,303
当期剰余金	1,235,303
純財産合計	2,560,303
負債・純財産合計	3,205,379

8. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事
須永 誠（東京都社会福祉協議会）

ニュースレター本号に同封して、「研究・実践企画奨励助成制度」のご案内をお届けしました。

「研究・実践企画奨励助成制度」は、学会会員の現場実践や若手研究者の研究を支援するため、ささやかではありますが助成金を用立てし、実践の普及や研究の促進に寄与できればと考案されたものですので、積極的なご応募をお待ちしています。

前号に開催要項を同封してお知らせいたしました、本年度の研究大会が11月18日（日）に、岩手県立大学アイーナキャンパスで開催されます。会場を盛岡駅前にご用意いただき、開会から大会後の懇親会終了まで、首都圏から日帰りが可能な時間設定となっておりますので、日程をご調整いただき是非ご参加ください。また、初の試みとして前日午後に「若手研究者の会」を行い夕刻からは懇親会も持つ予定ですので、こちらへも是非ご参加ください。

なお、研究大会の自由研究発表は、発表者・共同研究者ともに、本学会会員であることが条件になりますので、予定される会員におかれては、ホームページ上の様式にて、お早めに入会申し込み手続きをお願いいたします。

■ 会員加入状況（2018年9月29日現在）

正会員 106名 / 学生会員 9名 / 名誉会員 1名

（編集後記）

今年度第2号のニュースレターをお届けします。新運営体制に伴い、ニュースレター発行は、当面事務局が担当いたします。徐々に秋めいて参りました。11月の研究大会でお目にかかれたいことを楽しみにしております。

文責 日本福祉介護情報学会事務局 飯村史恵（立教大学）